

遅くなりましたが、  
あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願い申し上げます。



2016年1月18日 / 第70号

## 意見交換会を開催しました

12月13日(日)に「農業サポーター制度に係る意見交換会」を開催しました。農業サポーター、受入農家の皆さまから多数ご出席いただき、忌憚のないご意見をいただきました。会議の内容と皆さまからいただいたご意見を紹介します。

### 今年度の活動状況

H27年度の最終登録数はサポーター392人、受入農家60軒。4月～10月活動延べ人数は5497人でした。サポーター1人あたりの活動日数は月平均2.05日、受入農家1軒あたりの受入人数は13.1人となりました。

### 意見交換～フリートーク抜粋～

#### 【サポーターへの作業の指示について】

サポーター(以下サ): 農家から指摘されていないのに、一緒に作業していたシルバー人材センターの方から作業の間違いを指摘され、どうしたらいいか分からなかった。

事務局(以下事): 受入農家は、サポーターへの指導や言葉かけで困ったことや、判断に迷うことはあるか。

受入農家(以下農): 指示出しは自分がする。手伝いをお願いした農家が責任を持つべきだし、サポーターも従業員よりは農家本人や家族から言われた方がいいのではないかなと思う。

事: 普段の受け入れについてお願いするような機会が少ない。今後、農家さんとお話する機会に、作業の指示出しについてはお願いしていきたい。

#### 【登録条件について】

サ: 年齢構成を見ると60歳以上が多い。自分も数年で70歳になる。70歳以上へ登録条件の拡大は検討していないのか。

事: 登録条件の拡大ということで、年齢が課題になっていることは承知している。70歳を高齢とは言い切れないが、受け入れが負担になるのではないかと踏み切れない部分ではある。ただし、70歳の年齢制限は登録時であり、登録後は70歳定年というわけではないので、そこは安心していただきたい。

サポーターさん、農家さん、それぞれからご意見をいただきました。



### 目次

意見交換会を開催しました	1
H28年度新規サポーターを募集します!	2

### 【ブログの活用など】

サ: 今年度から活動しているが、繁忙期など手が欲しい時期がよく分からなかった。どういう時期に手伝いに来てほしい、と農家から声をかけてもらえると思う。

事: 受入農家には、緊急に人手が必要なときはブログで緊急募集できるので活用してください、と伝えている。

農: 現状として、サポーターはブログをこまめにチェックしているのを知りたい。

サ: (気が向いたら、時々、など)

事: 事務局がブログの公開作業をしたら、サポーターに「アップしました」とお知らせすれば、もう少し閲覧数上がるかもしれない。

サ: 20代、30代のサポーターが少ないように思う。若者が農業に興味を持っていないのではないかな?

事: サポーター制度発足当初に比べると、増えてきている。若い世代におもしろそう、と興味を持ってもらえるかが課題だと思う。この制度をPRするいい方法があれば、教えてほしい。

### アグリクラフト体験会を開催しました!

意見交換会の前に、農業サポーターの楠田さんを講師に迎え、アグリクラフト体験会を開催しました。クリスマス・お正月シーズン直前ということで、稲わらを使用したリース作りに挑戦しました。

当日は、和気藹々とした雰囲気、オリジナルのリースを作りました。完成したリースはクリスマスにぴったりの素敵な雰囲気です。飾りを変えればお正月飾りにもなるとのことでした。自分で作ったリースで、クリスマスやお正月を素敵に彩られたのではないかなと思います。



稲わらをもみほいてリースの本体を作り、リボンやベルを飾りつけました。

## H28 年度新規サポーターを募集します！

1月10日(日)より、平成28年4月から活動を開始する新規農業サポーターを募集しています。

ご家族やご友人に、農業サポーターに興味のある方、農作業を通して健康作りをしたい方、ボランティア活動に参加したい、という方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただければと思います。

また、2月21日(日)食育・花育センターにて、受入農家との顔合わせを兼ねた説明会を行います。新規サポーターさんがメインとなる説明会ですが、継続サポーターさんもお参加いただけます。詳しい案内は、後日お知らせいたします。

サポーター活動の輪を広げましょう！

- ・募集期間:1月10日(日)～1月31日(日)  
(締切日以降も随時受け付けます)
- ・申込み方法:郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、性別をはがき(〒950-0933 中央区清五郎401)・FAX(025-282-4987)・メール(shokuikuhanaiku@city.niigata.lg.jp)のいずれかで食育・花育センターお申し込みください。  
市ホームページ「申請・届出の総合窓口」からもお申し込みいただけます。

## ほんぽーとで農業サポーター制度の紹介をしています

農業サポーター募集期間にあわせて、新潟市立中央図書館(ほんぽーと)の展示コーナーにて、サポーター制度の紹介を展示しています。

事業の紹介、写真展示のほか、ほんぽーとスタッフ選書の、農業に関する本も展示しています。気軽に手に取っていただけるものから、本格的なものまで、バラエティに富んでいます。ほんぽーと、または近くにお立ち寄りの際、見に来ていただければと思います。

展示期間:1月7日(木)～2月2日(火)

【ほんぽーとについて】

所在地:中央区明石 2-1-10

開館時間:月～土 10:00～20:00 日・祝 10:00～17:00

## 「いきいき新潟」で紹介されました

1月16日(土)新潟市の広報テレビ「いきいき新潟」(TeNY)で農業サポーター募集について紹介されました。

番組制作のため、江南区の受入農家、高橋良夫さんにご協力いただきました。

当日は、高橋さんご家族と農業サポーター6人で作業をしている様子を撮影しました。

作業場では野菜の出荷作業、次は水菜のハウスに場所を移し、収穫作業の撮影をしました。また、ハウスにて登録1年目のサポーターさんとベテランサポーターさんの2名にご協力いただき、インタビューの撮影もしました。お2人とも、楽しくサポーター活動に参加されている様子が伝わってきました。

今回、撮影にご協力いただきました高橋良夫さんご家族、サポーターの皆さん、お忙しいところ本当にありがとうございました。



(上段)高橋さん宅での出荷作業とインタビュー撮影の様子です。登録のきっかけや、活動に参加した感想などを話していただきました。  
(下段)ほんぽーとの展示風景です。

## 【今後の予定について】

3月分の活動より、事務局によるマッチングを再開いたします。後日、受入農家さん、サポーターさんそれぞれにご案内させていただきます。

ようやく本格的な冬がやってきたようですが、春のサポーター活動も、もう少しで始まります！

新潟市農業サポーター事務局 (新潟市食育・花育センター内)

住所:新潟市中央区清五郎401番地 電話番号:(025)282-4181 FAX:(025)282-4987

休館日:不定休(1月の休館日は1日・12日・26日です)

◆電子メール アドレス:shokuikuhanaiku@city.niigata.lg.jp

◆Webサイトのアドレス [http://www.city.niigata.lg.jp/business/shoku\\_hana/nougyo/supporter/supporter\\_kiroku.html](http://www.city.niigata.lg.jp/business/shoku_hana/nougyo/supporter/supporter_kiroku.html)

◆ブログ版「農業サポーター通信」 <http://agri-supporter.shokuhana.com/>

携帯電話はこちらから⇒

